

# ブラジル国立経済社会開発銀行と 国際協力銀行

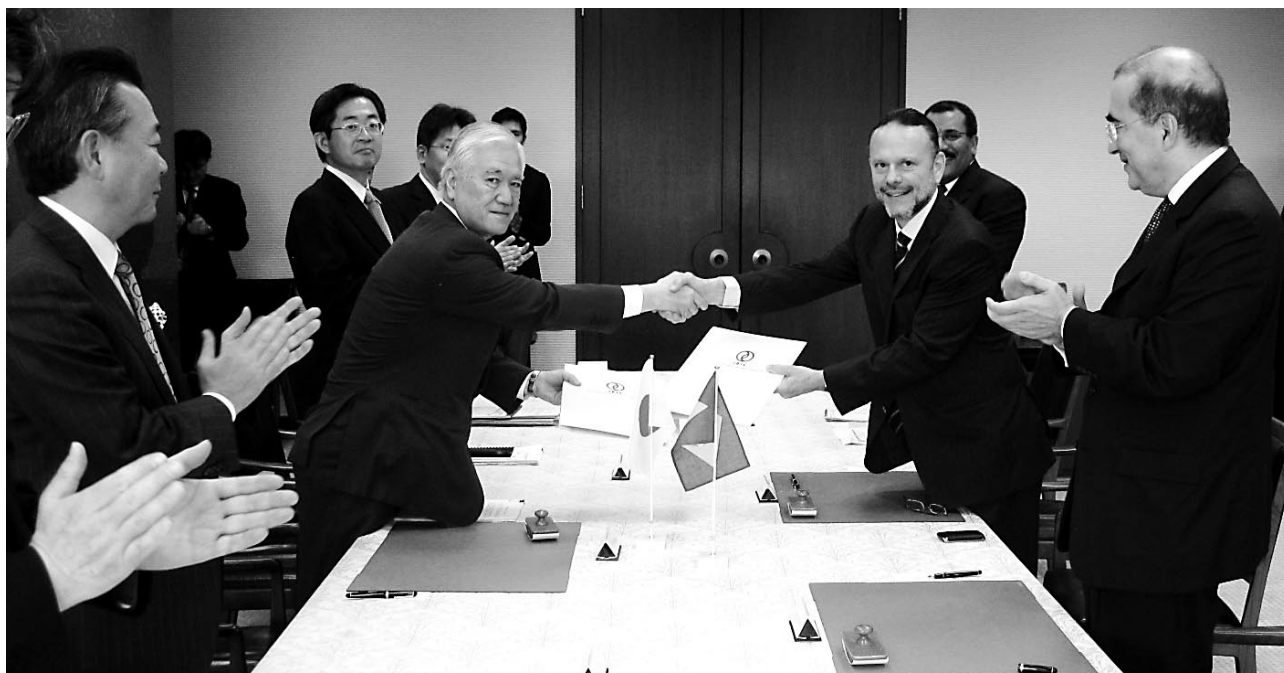
国際協力銀行  
鉱物資源部参事役  
(前リオデジャネイロ首席駐在員)  
細島 孝宏

本年、創立60周年を迎えるブラジル国立経済社会開発銀行（BNDES）は、リオデジャネイロに本店を置く100%ブラジル連邦政府出資の開発銀行である。ブラジルの基礎産業育成を目的に設立されたが、現在の業務は輸送や電力などの大型インフラ支援、ブラジル企業の機器調達支援、環境改善支援、中小企業育成、輸出振興、出資と広範に及び、総資産3740億ドル、年間貸出額約1000億ドル（世界銀行の3倍超、米州開発銀行の9倍超）と世界でも最大規模の開発銀行にまで発展した。

また、今年、BNDESと国際協力銀行（JBIC）との関係構築50周年の節目に当たり、両行の半世紀の協力の歴史を振り返りつつ、日本とブラジルの経済交流のいっそうの促進に向けた両行の新たなチャレンジについて紹介したい。

## ブラジルの経済発展に不可欠な存在

BNDESの融資条件は、金利はTJLPと呼ばれる長期政策金利（現行5.5%）をベースとし、期間は10年前後と、ブラジルでは唯一の低利・長期安定資金の供給を担っており、金融市場からの資金調達が依然短期・高金利の状況下、ブラジルで製造業やインフラ事業を手がける企業にとっては必要不可欠な資金調達先となっている。また、ブラジル連邦政府が推進する成長加速化計画（PAC）に基づくインフラ整備事業や各種民営化事業、ペトロブラスによる超深海油田開発、Valeによる鉄鉱石開発などの事業にとって最も重要な資金供給源となっている。ブラジル政府は、民間金融機関の育成を図りつつ、BNDESの



関係構築50周年を迎える両行（コウチーニョBNDES総裁と渡辺JBIC副総裁）

機能と役割を見直す中長期計画を掲げているが、新興国としてさらなる経済発展が期待されるブラジルにとって、BNDESの果たす役割は当面継続されるであろう。

現在のコウチーニョBNDES総裁は、ジルマ大統領の右腕としてブラジル社会経済の「持続的な開発・成長」を積極的に推進する改革派である一方、日本の技術革新に敬意を表し、毎年訪日する親日派でもある。



BNDES向け国際化研修（2010年12月、JBIC本店）、左から4人目が筆者

## JBICとの関係

JBICとBNDESとの関係は、1962年に国際協力銀行（JBIC）の前身である日本輸出入銀行（輸銀）がミナス製鉄所（現ウジミナス）への出資資金としてBNDESと貸付契約を締結したことから始まった。この融資は当時の輸銀として初めての投資金融直貸であり、奇跡ともいわれた投資ブームに沸くブラジルにおいて複数の日伯合弁事業が立ち上がった時期でもあった。その後、両行の関係は、1970～90年代前半は日本からブラジルへの輸出促進に総額4億ドル、90年代後半からはブラジルの中小企業育成や輸出・インフラ促進に総額30億ドルの融資実行を通じ、両国における各時代のニーズに沿った経済協力を実施してきた。最近では、2011年にJBICがBNDESに対しバイオマス発電などの温室効果ガス削減プロジェクト向けに3億ドルの融資を実行した。特筆すべきは、ルーラ前政権発足前後にブラジルに対する国際金融界での信任が動揺するなかで、JBICがBNDES向けに真っ先に融資を実行し、ブラジルの信任回復の一助となり、両国間の信頼関係を深めたことだ。

融資の関係にとどまらず、JBICはBNDESに対し輸出促進や自国産業国際化促進のための金融手法・ノウハウにつき研修を開催するなど、ソフト面での支援も実施した。また、日本からブラジルへの投資をいっそう促進する目的で、BNDES総裁の訪日の機会をとらえて投資誘致セミナーを複数回共催してきた。さらに、具体的なビジネスマッチングを推

進すべく、両行のネットワークを駆使し、両国企業の相互紹介なども実施している。

## 日伯共同事業の推進に向けて

今年で関係構築50周年となる両行の今後の取り組みについて主に2つの課題がある。1点目は、ブラジルにおける日伯共同によるインフラ事業の促進である。日本政府として民間企業によるパッケージ型インフラ海外展開を促進する目的として、一方、ブラジル政府として長年の課題である「ブラジルコスト」削減および2014年サッカーワールドカップや2016年リオデジャネイロ・オリンピックなどの大型国際イベントに向けたインフラ整備を目的として、内貨収入型のインフラ事業に対し、為替リスクを回避したレアル建て長期資金を供与していく枠組みを締結し、現在、具体的な案件形成を実施しているところである。

2点目は、グローバル化に伴い第三国で実施される日伯共同事業支援である。アフリカやほかの中南米諸国などの諸リスクを両行で補完することを主目的として、第三国で推進される日伯共同事業に対し協調して融資を行う枠組みを締結した。資源や製造業関連での共同事業が計画されつつある。

広大な国土に豊富な資源・食料を有するブラジルと、伝統的かつ高レベルのモノづくり能力を有する日本が、引き続き戦略的かつ補完的に重要なパートナーとして協調していくために、JBICとBNDESに期待される役割はますます高まっていくであろう。🍀